



ご挨拶

平素より皆さまには大変お世話になっており、心より感謝いたしております。

元旦に発災した能登半島沖地震により、お亡くなりになった方々に謹んでお悔やみ申し上げます。そして未だにライフラインも戻らず不安を抱えながら生活をされています被災された全ての皆さまに心よりお見舞いと心の安寧が戻りますようお願い申し上げます。一日も早い復旧、復興のために自分が出れることを考え、元気を被災地に送っていきたいと思います。

さて、私たちの生活を様変わりさせた新型コロナウイルス感染症は法律上の類型が引き下げられたことにより、様々な社会経済活動も回復に向け大きく動き出し、どんたく、山笠などのお祭りや世界に誇る福岡の食文化など福岡市の魅力を最大限に発揮される環境が戻ってまいりました。

本市経済がコロナ禍に受けた大きなダメージが早く回復し、以前の活気あふれる福岡市に戻ればと思います。

しかしながら、私たちの市民生活に目を向けますと、所得が少ない世帯を中心に物価高騰の影響が長期に渡っており、不安の声を多く聞きます。懸命に働く市民の所得の向上こそが、この現状の打開策であります。本市の雇用と経済を支えている中小零細企業におけるデジタル化支援などにより生産性を向上させるとともに新たなサービスや技術開発を後押しするなど積極的な経済対策は今まさに必要と考えます。

国内でも元気がある都市と言われる福岡市も少子化と高齢化の影響は顕著になってきております。特に少子化は我が国の将来として存亡にもかかわる大きな問題であると思っております。

福岡市が生み育てやすい街ナンバーワンとなっていくためにも、私は皆さんに一番近い議員として、「人の為に何が出来るのか」を常に考えながら、小さな声にも耳を傾け、活動していく所存であります。今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。



栴田神社での豆まき



(社)玄洋社記念館の理事をしています



親子教室、男の料理教室とお魚教室は多彩な参加者です



早良区の子どもたちも多数参加した飯盛神社の相撲大会



地元商店街の顧問をさせて頂いております。

長年の要望が実現します!!

早良区南部地区多目的グラウンドの整備

四箇エリアを中心に
本格的な調査検討が始まります!!



早良区内自治協議会会長の連名による要望、早良区選出市民党市議会議員4名による市長要望、区ソフトボール協会をはじめとする各種スポーツ団体による要望、そしてスポーツを愛する多くの早良区民の長年の願いがカタチとなろうとしています。

早良区内でのグラウンド不足は長年の課題で、早良区壮年ソフトボール大会などの大規模大会は区内でのグラウンドを確保できず、西区今津運動公園などで開催せざる負えない状況でありま

早良区南部地域に多目的グラウンドの整備に向けて、令和6年度予算に現地調査費が計上されました。いよいよ四箇エリアを中心に本格的な調査検討が始まりますが、一日も早い完成の為に地権者の皆さま、地元校区の皆さまにはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、近年は大規模災害が増加傾向にありますので、避難所となりうる防災機能を兼ね備えたグラウンドになるよう引き続き要望をしております。

福岡市令和6年度予算の概要

強くてやさしい福岡

「強くてやさしい福岡」をスローガンに「生活の質の向上」と「都市の成長」が好循環するよう令和6年度予算は編成をされています。予算規模は昨年に引き続き1兆円を超える規模となり、過去最大です。

生活の質の向上

次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち

好循環

魅力にあふれ、国内外から選ばれ成長するまち

都市の成長

「福岡市型」こども誰でも通園制度 (4億8,511万円)

この事業は、保育所等を利用していない未就園児を保育所等で定期的に預かることにより、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を行うことを目的としています。

令和5年度	【令和6年度福岡市型モデル事業】
利用種: 120人 実施施設: 3施設	利用種: 1,000人 実施施設: 30施設 程度
【国基準】 利用: 10時間/月 時間: (毎週1回・1日2時間)	福岡市独自: 最大40時間/月 時間: (毎週1回・1日4時間~8時間)

全国のロールモデルとして国の基準を超えて実施

第2子以降の保育料無償化の拡充など (24億1,382万円)

子育て世帯の経済的負担を軽減するために、第2子以降の保育料について、引き続き無償化を実施し、幼稚園のプレ通園を利用する当該年度に満3歳を迎える2歳児まで対象を拡大します。

学校や保育所等の給食費物価高騰分の支援 (15億7,784万円)

物価高騰の中でも保護者の負担を増やすことなく、学校、保育所での給食の質の維持を図るため、給食食材の価格高騰相当額を支援します。また、保育所において第3子優遇事業として、保護者が保育施設に支払う副食日等の助成をします。

高齢者乗車券の利便性向上 (20億2,934万円)

高齢者乗車券、福祉乗車券のタクシー助成券、福祉タクシーの助成についてより使いやすくなるように10月より乗車につき、最大2枚(1,000円分)まで利用可能になります。

福岡地下鉄の車両更新、増備 (41億6,444万円)

運用開始から40年経つ1000N系車両、空港線、箱崎線の車両を新型に更新(R6~R9)していきます。新型車両は子ども連れや車いすの方、大きな手荷物をお持ちの方が快適に利用できるデザインとなっています。また新技術の導入により使用電力量を20%削減し環境にも優しい車両となっています。



商店街プレミアム付き商品券の発行支援 (1億425万円)

地域経済の活性化と物価高騰対策として地元地域に根差している商店街を支援するために、発行するプレミアム付き商品券の支援を行います。

プラスチックごみの分別収集導入に向けた取り組み (5,820万円)

循環型社会の構築、リサイクルの促進として更なるごみ減量に向け、プラスチックごみの分別収集が導入されます。個別収集や拠点回収などのモデル事業を引き続き実施していきます。

燃えるゴミの指定袋の小袋化、ばら売り (2,178万円)

可燃ごみ用指定袋に新たに10Lサイズを試験的に導入します。レジ袋の代わりに指定袋を販売するばら売りを試験的にを行います。(可燃ごみ用10L、15L)

